

福岡県の立地環境について

福岡県企業立地セミナー in東京



令和6年1月19日

福岡県知事 服部 誠太郎

目次

- 1 福岡県の魅力・ポテンシャル**
- 2 福岡県の4プロジェクト**
- 3 優遇制度**

福岡県の魅力・ポテンシャル



福岡県の魅力・ポテンシャル

豊富な 理工系人財

- 理工系大学入学定員数 全国5位(6,394人)
- 理工系(国立)大学入学定員数 全国2位(2,164人)
- 高等専門学校学生数 全国3位(3,374人)
- 工業科系高校生徒数 全国3位(3,633人)

充実した 交通インフラ

- 2つの国際空港
24時間運航可能な北九州空港
都心部に位置する利便性抜群の福岡空港
- 2つの国際拠点港湾、2つの重要港湾
釜山、上海など世界の主要港と近接

福岡県の魅力・ポテンシャル

安価な電力

- 九州電力／1kWhあたり約19円 全国最安

※全国の手電力会社比較

高い再生可能 エネルギー率

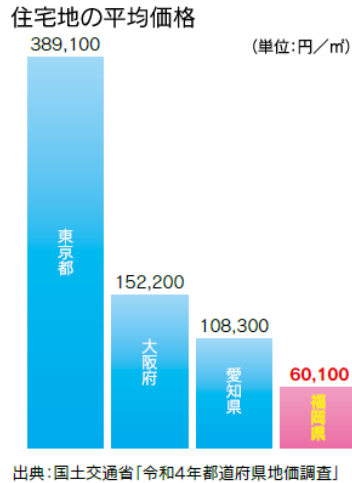
- 九州電力の
再生可能エネルギー率 20%
ゼロエミッション電源比率 国内1位



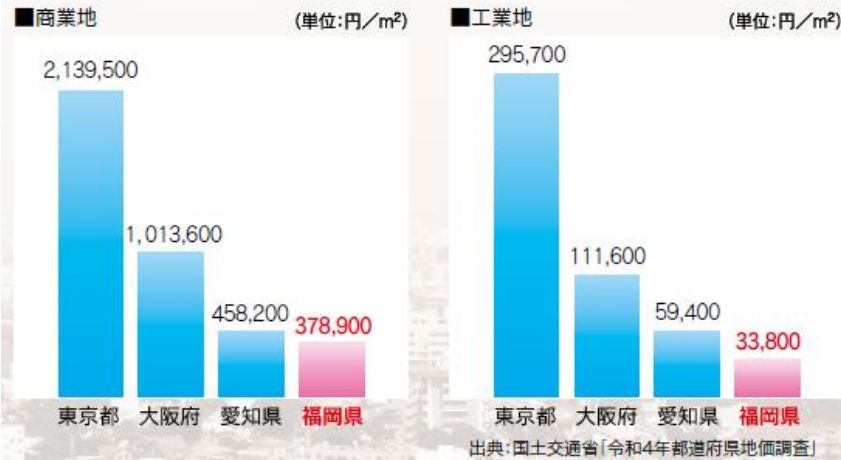
福岡県の魅力・ポテンシャル

■ゆとりある生活

安価な住宅環境



土地の平均価格



オフィス賃料(全国ビジネス地区平均賃料)



■高い都市総合力

森記念財団都市戦略研究所が発表した「日本の都市特性評価(2023年版)」で福岡は(東京都を除く136都市のうち)4位にランクイン！！
中でも、「経済・ビジネス」、「交通・アクセス」分野において非常に高い評価！！

都市名	
1位	大阪
2位	横浜
3位	名古屋
4位	福岡
5位	京都
6位	神戸
7位	仙台
8位	松本

※東京を除く都市

福岡県の魅力・ポテンシャル

■産業団地の整備

直方・鞍手工業用地

大規模データセンター、自動車関連企業の立地を見込む

➡ 令和7年度中の完成を目指す

新松山臨海工業団地 (第3期分譲)

県南地域において新たな産業団地の整備を計画中

県及び市町村による産業用地の整備

➡ R4～5年間で100haの整備に着手

革新的バイオ

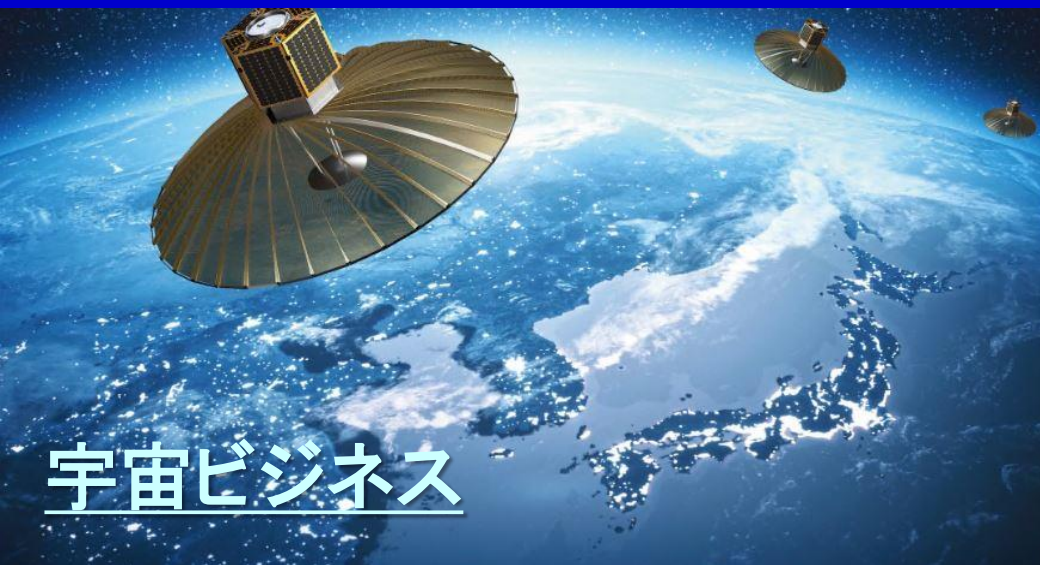


グリーンデバイス



「新しい資本主義」を加速させる
福岡県の4プロジェクト

宇宙ビジネス



水素大規模拠点



革新的バイオ 産業創出の推進



革新的バイオ産業創出の拠点形成

福岡バイオバレープロジェクト

- 久留米地域を中心に、福岡県をバイオ産業の一大拠点にすることを目指している。
- 現在、4つの重点分野を中心に、200社を超えるバイオ関連企業が集積。



R3年6月認定

4つの重点分野におけるバイオベンチャーの集積や強み

次世代創薬



EditForce

エディットフォース(株)
・ゲノム編集による創薬



VLP Therapeutics Japan(株)
・新型コロナウイルス、デング熱などのワクチン開発

再生医療

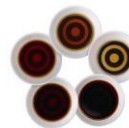


(株)サイフューズ
・バイオ3Dプリンタによる
再生医療等製品開発



(株)ガイアバイオメディシン
・細胞医薬品の開発

バイオものづくり



醤油を創る
～万葉の香り華やかに～
福岡県醤油醸造協同組合
Fukuoka Soy Sauce Brewing Cooperation

福岡県醤油醸造協同組合
・ヒト型セラミド高含有醤油
麹菌の開発



ゲノム編集産業化実証ラボ
・九州大学と連携し、バイオ
ものづくりを一貫して支援

機能性表示食品



消費者庁への届出件数

国内第3位

- 1位 東京都 (3,208件)
- 2位 大阪府 (961件)
- 3位 福岡県 (630件)**

(R5年12月末現在)

➡ **大手製薬企業とのライセンス契約、IPO、資金調達に成功するバイオベンチャーを創出**

革新的バイオ産業創出の拠点形成

海外のエコシステムとの連携

- ・令和5年10月、知事を団長とし、産学官で米国・ボストンを訪問
- ・現地では、知事や県内バイオスタートアップが登壇する「Fukuoka Innovation Night」を開催。あわせて、現地VCや製薬企業とのネットワーキングを実施。



ピッチイベント「Fukuoka Innovation Night」

【登壇企業】



(株)フェリクス

小児希少疾病医薬品



(株)CUBICStars

臓器の3Dイメージング

CUBICStars

など



マサチューセッツ州政府訪問



モデルナ訪問



Mass Bio訪問

宇宙ビジネスの推進



QPS研究所の小型衛星プロジェクト

QPS研究所（福岡市）

- 九州大学発ベンチャー
- 世界最高水準の小型レーダー衛星を開発し、令和元年、令和3年に試験機の打上げ成功
- 令和4年3月、「内閣総理大臣賞」を受賞
- 同年4月、QPS衛星画像の政府調達が決定
- 令和5年6月、本格商業衛星の初号機の打上げ成功
- 同年12月、東京証券取引所グロース市場へ上場



上場報告時の様子

QPS衛星の特徴

- ①小型・低コスト
- ②天候・昼夜不問の電波を使用
- ③高精密な地表画像データ

- ▶ 県内中小企業17社を中心に開発
- ▶ 衛星制御に本県発のプログラミング言語「軽量Ruby」を採用



福岡県版下町衛星



世界トップクラスとなる分解能46cmの画像を取得



(提供:QPS研究所)

衛星コンステレーションの早期構築

令和7年以降に36機体制を構築

→世界のほぼどこでも平均10分以内に観測可能な「準リアルタイムデータ提供」の実現

宇宙ビジネスの創出拠点形成

衛星、ロケット部品

・オガワ機工(株)

QPSプロジェクトにおいて人工衛星の機体・アンテナの設計・組立を担当



QPS衛星組立の様子

・(株)中島田鉄工所

(内閣府「JAXA賞」受賞)

小型人工衛星用の軌道離脱装置を開発



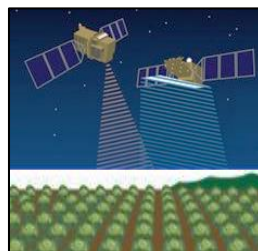
軌道離脱装置「DOM」(展開時)

衛星データ利活用

・(株)Fusic

(「衛星リモートセンシング法」認定取得)

農作物の生産量や収穫時期等を予測するシステム開発中



衛星による農場観測(イメージ)

・(株)YAMAP

(内閣府「宇宙政策賞」受賞)

河川の流れや流域の保水量を可視化するシステム開発中



流域地図

宇宙日本食

・農事組合法人福栄組合

「はかた地どり」のムネ肉(機能性表示食品)を使用した「はかた地どりともち麦のお粥」を開発中



はかた地どりのお粥

・ベストアメニティ(株)

雑穀米を使用し、食感と健康にこだわった「スペース雑穀米ぜんざい」を開発中



雑穀米ぜんざい

・学校法人中村学園

栄養バランスに優れた「南瓜と人参のポタージュスープ」を開発中



ポタージュスープ

本県の高いポテンシャル

- ・宇宙ビジネスに参入しうる優れた技術を持つハード・ソフト企業の集積
- ・宇宙分野で優れた研究成果を有する大学(九大、九工大など)の立地
- ・産学官連携プラットフォーム「福岡県宇宙ビジネス研究会」の構築(令和5年10月現在 235会員)

令和2年9月 九州初の宇宙ビジネス創出自治体を選定

宇宙ビジネス
創出拠点構築



グリーンデバイス

開発・生産拠点の形成

不足する半導体人材を育成

福岡半導体リスキリングセンター

●本県をはじめ九州・全国の半導体人材を育成

開設時期 2023年8月23日

センター長 東京大学大学院工学系研究科 黒田忠広教授

講座内容 半導体を「作る側」と「使う側」に分類し、基礎技術から応用技術まで幅広いレベルの講座を提供

・作る側 半導体の設計、製造、テストなど生産工程別の講座

・使う側 自動車分野や組込分野など、半導体を使うために必要な基盤技術を学べる講座
※県内中小企業は受講料無料



福岡半導体リスキリングセンター



黒田忠広センター長
(東京大学大学院教授)



受講風景(イメージ)

→ 今後5年間で25,000人の半導体人材を育成

半導体実装技術の高度化を支援

三次元半導体研究センター

- 世界的な注目技術である三次元実装をターゲットに、設計、試作、評価・解析を一貫して支援する国内唯一の公的機関として、九州はもとより全国の企業に高度な研究開発環境を提供。
- 「国内トップのJISSO※研究開発拠点」として、オープンイノベーションによる継続的な研究開発、課題解決、技術支援を強化し、県内だけではなく国内企業の技術高度化に貢献。

※JISSO=実装:シリコンウエハの状態からパッケージングし、プリント配線板へ搭載する技術。

開設時期 2011年3月

特 色 国内で唯一、半導体の実装分野で設計、試作、評価・解析の一貫支援が可能。

利用状況 九州を中心に全国の半導体材料メーカー等が利用。
企業の実装技術の高度化を支援。

利用件数 335件(2021年度実績)



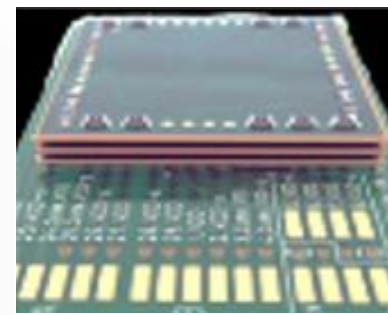
三次元半導体研究センター



試作設備



評価・解析設備



試作品の例

本県が強みを持つグリーンデバイスの一大開発・生産拠点の形成

北九州市響灘臨海部を中心とした

水素大規模拠点の構築



北九州市響灘臨海部を中心とした水素大規模拠点構想

エネルギー安全保障上の
利点を有する

日本海側最大の拠点



水素供給面で多様な水素の**ベストミックス**

響灘臨海部



海外からのグリーン水素・アンモニア受入

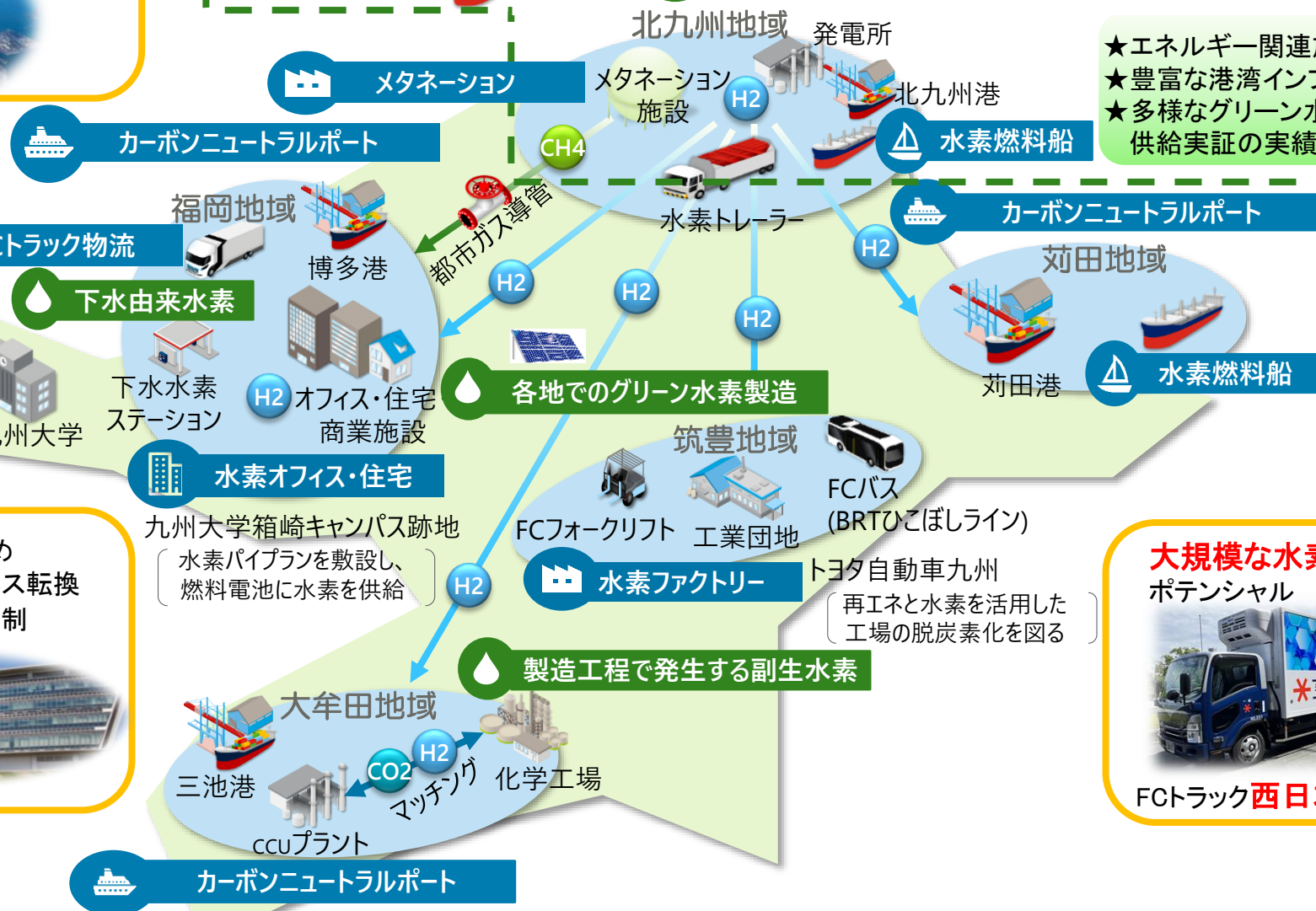


域内でのグリーン水素製造



製造工程で発生する副生水素

- ★エネルギー関連施設の集積
- ★豊富な港湾インフラ
- ★多様なグリーン水素製造・供給実証の実績



カーボンニュートラルポート

FCトラック物流

下水由来水素

H₂ オフィス・住宅 商業施設

水素オフィス・住宅

九州大学箱崎キャンパス跡地
〔水素パイプランを敷設し、
燃料電池に水素を供給〕

各地でのグリーン水素製造

水素ファクトリー

製造工程で発生する副生水素

大牟田地域
三池港
ccuプラント
CO₂ マッチング
化学工場

カーボンニュートラルポート

九州大学をはじめ
情報収集からビジネス転換
まで一貫した支援体制



**大規模な水素需要の
ポテンシャル**



FCトラック**西日本初**の導入

構想実現に向けた体制

福岡県水素グリーン成長戦略会議

※構成:約900社・団体

設立 令和4年8月

会長

佐藤 直樹

(日本製鉄 代表取締役副社長)

顧問

福岡県知事

九州経済産業局長、

九州地方環境事務所長

目標 ①水素製造のイノベーション

②水素利用の拡大

③水素関連産業の集積

副会長

岩谷産業 取締役専務執行役員

ENEOS 代表取締役 副社長執行役員

九州電力 取締役 常務執行役員

トヨタ自動車九州 取締役

九州大学 副学長

北九州市長

福岡市長

九州大学総長

福岡県水素拠点化推進協議会

※構成:約30社・団体

設立 令和5年5月

会長

福岡県知事

オブザーバー

九州経済産業局、福岡市、

九州大学、九州地方整備局、

日本政策投資銀行

副会長

北九州市長

九州電力 取締役常務執行役員

西部ガス 取締役常務執行役員

日本製鉄 常務執行役員 九州製鉄所長

会員

伊藤忠商事、商船三井テクノトレード、

電源開発、TOTO、トヨタ自動車九州、

日鉄エンジニアリング、日本コークス、

ブリヂストン、UBE三菱セメント 等

顧問

福岡県水素グリーン成長戦略会議会長

(日本製鉄 代表取締役副社長)



総会における会員企業の意見

- ・北九州で水素燃料船の国内初の商業運行を計画。地産地消可能な水素を必要としている。(旅客運送)
- ・製造工程で大量のCO2を発生。この地で供給される水素を燃料に活用していきたい。(製造)
- ・北九州は多様な産業が集積。再エネと水素需要の両方あるのが強み。また、今すぐにでも水素を使いたいという声もあり、水素供給側にとって心強い。(電力)

現在の取組

水素拠点形成計画の策定

- ・水素需要量の調査 (ポテンシャルが高い約110社)
- ・水素供給インフラの仕様検討
- ・コスト試算 等



国の支援制度への応募

優遇制度



優遇制度

■福岡県企業立地促進交付金

福岡県内に対象業種企業*が工場や事業所を新增設する際に、
最大で投資額の**10%、上限10億円**を助成

※対象業種(総務省「日本標準産業分類」による)

「製造業」「道路貨物運送業」「データセンター」「ソフトウェア業」「情報処理・提供サービス業」「デザイン業」「機械設計業」「コンタクトセンター」

※特例産業

「製造業」の内「航空宇宙関連」「グリーンデバイス(半導体)関連」「蓄電池関連」「バイオ関連(製薬製造)」「洋上風力発電機関連」「水素エネルギー関連」
及び「データセンター」

【例：製造業（半導体関連）が製造・事業施設を新設・増設する場合】

交付要件 (①～③を満たすこと)	交付金の算出根拠	限度額
<p>①半導体素子、半導体デバイス、半導体モジュール製造業 若しくはこれらの事業所に直接部品等を納入する事業所でその割合が売上の50%を超えるもの又は半導体製造装置製造業</p> <p>② 設備投資額 5億円以上 (土地を除く、賃借の場合は固定資産評価額)</p> <p>③ 県民の新規雇用 10人以上</p>	<p>1. 設備投資額の 2%</p> <p>2. 業務施設・設備機器の年間賃借額の 1 / 2</p> <p>3. 社宅の取得・改修費の 2%</p> <p>4. 社宅の年間賃借額の 1 / 2</p> <p>5. 県民 1 名 × 3 0 万円 (操業から 3 年間)</p> <p>上記 1 ~ 5 の合計に業務施設が立地する市町村の財政力指数に応じた交付率を乗じる。</p> <p>※特例産業に該当する場合は、上記 1 に市町村の財政力指数を加味した交付率に 3%加算</p> <p>※グリーンアジア国際戦略総合特区特例に該当する場合は、上記 1 に市町村の財政力指数を加味した交付率に 5%加算</p>	<p>10億円</p>

優遇制度

■グリーンアジア国際戦略総合特区

本県では、「グリーンアジア国際戦略総合特区」の指定を受け、環境配慮型製品^{*}の開発・生産拠点の構築を推進。

特区制度を活用することで、税制上・金融上の支援措置等を受けることが可能。

(※)対象製品 … 環境配慮型自動車、産業用ロボット、再生可能エネルギー、レアメタルリサイクル、(パワー)半導体、有機EL、次世代燃料電池、水素ステーションなど(これらの部品を含む)

本地域のポテンシャル

- 環境問題への長年の取り組み
- 環境性能の高い製品の開発・生産拠点の集積
- アジアとの緊密なネットワーク

- 地域独自の支援措置を実施
- 産学官が一丸となって推進

日本経済の成長・発展に貢献！

福岡をアジアの中で先進的・魅力ある地域に！

国による支援

- 税制上の支援(法人税の軽減)
設備投資額の**10%**(建物等5%)の**税額控除**または**34%**(建物等17%)の**特別償却**
- 金融上の支援(利子補給制度)
指定金融機関からの借入に対し、**最大0.7%**を5年間支給

地域独自の支援

- 福岡県企業立地促進交付金の**交付率5%上乗せ**(県)
- 不動産取得税(土地3%、建物4%)の**課税免除**(県)
- 固定資産税の**課税免除**(3年間)(北九州市、福岡市など)

活用企業の例

- 株式会社EVモーターズ・ジャパン
独自開発のバッテリー制御技術に基づく高性能国産EV商用車の開発・生産体制を構築するための設備導入に対し、特区指定法人として指定。



指定書交付式の様子

ご清聴、誠にありがとうございました

■ 立地に関する問い合わせ先
福岡県商工部企業立地課企業誘致係
電 話： 092-643-3441
ファックス： 092-643-3443
E-mail： kigyoo@pref.fukuoka.lg.jp
URL： <http://www.kigyorichi.pref.fukuoka.lg.jp/>